

スポルテック2017

リハビリテーションセミナー

日 時：7月27日（木）15:00～16:30

会 場：東京ビックサイト 会場I(展示会場2階)

入 場 登 録 料：2,000円(事前登録にて無料)

セミナー受講料：事前申込価格 4,000円(17日まで)、当日申込価格5,000円

入場登録及びセミナー申込はスポルテック2017ホームページにアクセスしてください。

<https://www.sports-st.com/>

演 題:

リハビリテーションから障がい者スポーツへ
～シャルコー・マリー・トゥース病を通して～

司会進行：高内 裕史（横浜市立大学医学部リハビリテーション科学教室）

演 者：伊藤 倫之

（京都府立心身障害者福祉センター附属リハビリテーション病院

医長・日本パラ・パワーリフティング連盟 医師）

吉田 進（日本パラ・パワーリフティング連盟 理事長）

小林 浩美（日本パラ・パワーリフティング連盟 選手）

主 催：日本パラ・パワーリフティング連盟

協 力：日本リハビリテーション医学会

障害を克服する上においてリハビリテーションの重要性が注目されている。シャルコー・マリー・トゥース病も筋力低下を来す疾患の1つであり、下肢だけでなく、上肢を中心に手、足関節などの遠位筋の筋力低下が日常生活の障害になることが多い。しかし、1980年代では、シャルコー・マリー・トゥース病の筋力強化は、過用性筋力低下を招くと言われ、行われてこなかった。近年、徐々に行う筋力強化は、筋力低下を起こさず日常生活動作能力向上につながると言われている。そこで、注目されるのは障がい者スポーツである。特にパラ・パワーリフティングは、筋力を競う競技であり、筋力強化が重要である。本セミ

ナーでは、実際にパラ・パワーリフティングで活躍されているシャルコー・マリー・トゥース病の小林浩美選手を招き、その体験を中心に筋力強化の重要性を討論していく。

講演

1. シャルコー・マリー・トゥース病を中心とする神経筋疾患のリハビリテーションの現状（仮）
（伊藤 倫之）30分
2. パラ・パワーリフティング スポーツ特性とこれからの課題
（吉田 進）15分
3. パラ・パワーリフティングを始めて（仮）
（小林 浩美）15分

パネルディスカッション

リハビリテーションから障がい者スポーツへ

進行 高内 裕史

各演者に4～5のテーマで意見を伺いながら討論を行う。（20分）

質疑応答（10分）